

### ”中国4大商業国有銀行とは？”

8/30までに中国4大国有商業銀行の2021年1-6月期の中間決算が出揃った。中国4大商業銀行とは、**中国工商銀行**(Industrial and Commercial Bank of China: ICC)、**中国建設銀行**(China Construction Bank: CCB)、**中国銀行**(Bank of China: BOC)、**中国農業銀行**(Agricultural Bank of China: ABC)を指す。これらの銀行は、1997-98年のアジア金融危機をきっかけに、銀行部門の不良債権処理の本格化に伴って株式上場を視野に入れた株式制への再編によって誕生した。なお、**交通銀行**(Bank of Communications)を含めて5大国有銀行と言う場合もある。

### ”上位2行の中間決算から見る中国の銀行決算の特徴”

4大国有商号銀行で総資産の上位2行(中国工商銀行および中国建設銀行)の中間決算を、アセアンの銀行の中でも時価総額首位を争うシンガポールのDBSと日本のメガバンク首位の三菱UFJフィナンシャルGの直近の決算と比較すると以下の特徴が挙げられる。

収益面では、純金利マージンが高く、営業収益に占める純金利収益の比率が高い一方で、非金利収益の比率が低い点である。

費用面では、経費率の低さが挙げられる。ただし、与信関連費用が営業費用を上回っており、両者合計費用の営業収益に対する比率では2行ともに50%近辺であり、DBSよりも高い。一方で、DBSと同様に経費率が非金利収益の構成比率とほぼ同水準である。また、DBSや三菱UFJと比較すると、与信関連費用の変動性が小さい点も特徴として挙げられる。

収益および費用面で上記の傾向が継続するならば、8/31終値基準での税前市場予想年配当利回りが、中国工商銀行が7.33%、中国建設銀行が6.92%と高配当利回り投資としては魅力的な水準と言えよう。また、日本のメガバンクについて他のアジア上位銀行と比較した場合の経費率の高さおよび純金利マージンの低さが日本の銀行経営にとって構造的な重しとなっている点も認識されよう。

### 中国2行(中国工商銀行、中国建設銀行)、シンガポールのDBSホールディングス、および日本の三菱UFJフィナンシャルGの決算概要

	中国工商銀行		中国建設銀行 (China Construction Bank)	
	2021年1-6月	前年同期比	2021年1-6月	前年同期比
純金利収益(百万円)	336,293	+5.1%	296,085	+5.1%
純手数料・コミッション収益(百万円)	75,943	+0.5%	69,438	+6.8%
その他純収益(百万円)	14,170	+105.5%	4,477	+38.3%
営業収益(百万円)	426,406	+6.0%	380,907	+5.8%
営業費用(百万円)	94,991	+8.0%	88,160	+10.5%
与信関連費用(百万円)	124,547	-0.7%	108,512	-2.7%
純利益(百万円)	163,473	+9.9%	154,106	+10.9%
純金利マージン	2.12%	-0.08ポイント	2.13%	+0.07ポイント
非金利収益の構成比率	21.13%	+0.06ポイント	22.27%	+0.5ポイント
経費率	21.19%	+0.43ポイント	22.22%	+0.97ポイント
与信関連費用の対営業収益比率	29.20%	-1.98ポイント	28.5%	-2.45ポイント
	前年同期末比		前年末比	
総資産(十億元)	34,100	+9.0%	29,833	+6.1%
貸出残高(十億元)	19,996	+7.4%	17,493	+7.8%
不良債権比率	1.54%	-0.04ポイント	1.53%	-0.03ポイント
	DBSホールディングス (シンガポール)		三菱UFJフィナンシャルG (日本)	
	2021年1-6月	前年同期比	2021年4-6月	前年同期比
純金利収益	4,196(百万SGD)	-12.3%	4,969(億円)	+5.9%
非金利収益	3,247(百万SGD)	+9.4%	4,602(億円)	-22.2%
営業収益	7,443(百万SGD)	-4.0%	9,571(億円)	-9.8%
営業費用	3,130(百万SGD)	+3.0%	6,736(億円)	+1.8%
与信関連費用	79(百万SGD)	-95.4%	346(億円)	-67.5%
純利益	3,712(百万SGD)	+52.1%	3,830(億円)	+108.8%
純金利マージン	1.47%	-0.27ポイント	0.74%	横ばい
非金利収益の構成比率	43.6%	+5.3ポイント	48.1%	-7.7ポイント
経費率	42.1%	+2.9ポイント	70.3%	+8.0ポイント
与信関連費用の対営業収益比率	1.1%	-21.7ポイント	3.6%	-6.5ポイント
	前年同期末比		前期末比	
総資産	672(十億SGD)	+3.6%	362(兆円)	+0.7%
貸出残高	397(十億SGD)	+5.9%	105(兆円)	-2.2%
不良債権比率	1.5%	横ばい	0.83%	+0.15ポイント

(出所:中国工商銀行、中国建設銀行、DBSホールディングス、三菱UFJフィナンシャルGの決算資料よりフィリップ証券作成)

### ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全81銘柄)における終値の今年3月末騰落率

ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全81銘柄)		前回基準日: 20210817	基準日: 20210831
順位	3月末騰落率・上位10銘柄 (%)	(%)	前回順位
1	比亞迪 [BYD]	59.9	1
2	信義光能[シンイー・ソーラー]	50.6	7
3	吉利汽車控股[ジーリー・オートモービル・HDS]	43.5	2
4	中国中信[シティック]	37.4	8
5	舜宇光学科技(集団)[サニーオプティカル・テクノロジー]	33.5	5
6	創科実業[テクトロニック・インダストリーズ]	31.1	3
7	安踏体育用品 [アンタ・スポーツ・プロダクツ]	26.6	4
8	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	25.0	9
9	薬明生物技術[ウーシー・バイオロジクス・ケイマン]	23.7	10
10	金蝶国際軟件集団[キングディー・ソフトウェア]	17.4	32
順位	3月末騰落率・下位10銘柄 (%)	(%)	前回順位
81	Koolearn Technology Holding (新東方在線)	-75.6	81
80	Kuaiishou Technology(快手)	-68.7	80
79	汽車之家 (Autohome)	-56.3	79
78	阿里健康信息技術[アリバヘルス・インフォメーション・テクノロジー]	-42.0	78
77	Ping An Healthcare and Techn (平安好医生)	-41.1	68
76	Haidilao International Holdi (海底撈)	-40.3	77
75	金山軟件 [キングソフト]	-39.4	69
74	金沙中国 [サンズ・チャイナ]	-35.8	75
73	JD Health International Inc (京東健康)	-35.2	73
72	Weimob Inc(微盟集団)	-34.6	76

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

### 【2021年8-9月の中国の経済指標】

- 8月20日(金)
  - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.85%、結果3.85%
  - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.65%、結果4.65%
- 8月27日(金)
  - ・7月工業企業利益<前年同月比>: 前回+20.0%、結果+16.4%
- 8月31日(火)
  - ・8月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.4、結果50.1
  - ・8月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回53.3、結果47.5
- 9月1日(水)
  - ・8月財新製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.3、結果49.2
- 9月3日(金)
  - ・8月財新サービス部門購買担当者景気指数(PMI): 前回54.9
- 9月7日(火)
  - ・7月貿易収支: 前回+565.8億USD
  - ・7月外貨準備高: 前回3.235兆USD
- 9月9日(木)
  - ・8月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+1.0%
  - ・8月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回+9.0%
- 9月9日(木)-15日(水)
  - ・8月資金調達総額: 前回1.06兆元
  - ・8月新規人民元建て融資: 前回1.08兆元
  - ・8月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+8.3%
- 9月15日(水)
  - ・8月新築住宅価格<前月比>: 前回+0.3%
  - ・8月小売売上高<前年同月比>: 前回+8.5%
  - ・8月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+6.4%
  - ・1-8月固定資産投資<前年同期比>: 前回+10.3%
  - ・1-8月不動産投資<前年同期比>: 前回+12.7%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

**【レポートにおける免責・注意事項】**

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項＞

- ・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。